

ゆず湯を楽しんでももらいました。



ゆずを頂きましたので、いろいろと考えて、お風呂に使わせて頂くことにしました。ご利用者様は、「久しぶりのゆず湯でうれしいなあ」「いいにおいの中、ゆっくり入れてよかったよ」などの感想をお話ししていました。今後も、ご利用者様に喜ばれる内容を検討して、進めて行きたいと思います。

今度は、どんなお風呂にはいれるのかとても楽しみです。

s.s
みらい
新聞

第 87 号

2020 年 11 月

発行責任者

新津 尚

新型コロナの第 3 波

新型コロナウイルスの感染が拡大しております。特に今の時期は、従来と違い冬の寒さ、インフルエンザの予防とも重なり、予断を許さない状況にあります。(第3波襲来)

山梨県下でも、金融機関、大学、病院、介護施設等、感染が拡大しています。

こうした中で、ショートステイみらいでは、従来に増して、職員の健康管理の徹底、ご利用者様の検温や消毒をマニュアルに沿って忠実に実行しています。

先日も隣町の介護施設でクラスターが発生し、職員の健康管理や利用者の健康管理、換気やマスク着用など、全てをやっていたのに感染してしまったという事例があります。

こういう話を聞くと「打つ手はない！」と考えてしまいますが、出来る限り基本に忠実に、今後も新型コロナ感染防止対策を進めていきます。

介護を取り巻く問題 1

介護を必要とする高齢者の増加、介護職員の人手不足や待遇の改善、その解決のひとつとしての介護ロボットの導入、介護にかかる費用の見直し、施設不足による介護難民の発生、老老介護や認認介護、要介護者への虐待の増加など問題は山積みです。これらの解決には、介護業界全体の状況改善が、必要であります。特に社会保障給付費と財政の問題があります。下の図のように保険料では賅いきれない程に社会保障給付費が伸びています。今後、どうなっていくのか注視が必要です。

社会保障給付費と財政の関係

